

科目の目標
1 年次に数学 I・A で学んだ内容から、「数と式」、「2 次関数」、「図形の性質」、「図形と計量」、「場合の数と確率」等について、問題演習を行う。その中で、数学における基本的な概念や原理・法則などを理解する。さらに、それらを積極的に活用し数学的活動の中で正しい判断をし、適切に処理・表現することができる。

①知識・技能	・数学における基本的な概念や原理・原則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
②思考・判断・表現	・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
③主体的に学習に取り組む態度	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

①	小テスト、定期テスト、課題テスト、ノートや課題・レポート等の記述内容の点検
②	小テスト、定期テスト、課題テスト、ノートや課題・レポート等の記述内容の確認
③	小テスト、①②における評価に基づき総合的に評価する。

月	単元名	使用教科書項目	単元や題材などの内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	「数と式」	数学Ⅰ 第1章 数と式	・数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすることができる。 ・二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めている。 ・問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。	○	○	○
5	「集合と命題」	数学Ⅰ 第2章 集合と命題	・集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 ・集合の考え方をを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。	○	○	○
6	「2次関数」	数学Ⅰ 第3章 2次関数	・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・2次関数の式とグラフの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 ・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。 ・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。また、2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 ・二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	○	○	○
7						

